

戸建住宅における中間領域の分類に関する研究

日大生産工(院) ○渡辺 美沙子 日大生産工 渡辺 康

1 中間領域とは

現代の住宅は空調設備が発達し、空調に対する意識も増し、内部空間と外部空間をはっきり分けてしまう住宅が増えている。また、防犯性やプライバシーを重要視するため、庭などがあってもそれに対してあまり開いていないような閉鎖的な住宅も多くみられる。

しかし、実際に変化のある、快適な空間とはどういうものか考えると、中間領域がそういった空間を生み出すことに関係があると考えられる。

お寺の軒下において心が和んだり、オープンテラスのカフェで開放的な気分になったり、家の中に居るのに、外との敷居が曖昧で身近に外部空間を感じられる様々な空間の質が生まれる。

2 中間領域の定義

中間領域とは内部空間に居ながら、外部に触れられる。あるいは、外部空間に居ながら、内部を感じられる。人と人、自然と人を円滑に結び付ける空間構造だと考える。

外部であり内部でもある領域とは何をもって内部空間と外部空間を位置付けているのか。それは曖昧である。

では、内部空間とは何から定義されるのか。住宅を主に考えると、ただ土足で踏み入れる場所として判断するには誤りがある。古民家などを見る限り、土間など土足で踏み入れる内部空間も存在するので、一概に土足のみでは判断できない。

建築基準法から建築物の定義は「土地に定着する工作物のうち屋根及び柱若しくは壁を有するもの(これに類する構造のものを含む。)、これに附属する門若しくは塀、観覧のための工作物又は地下若しくは高架の工作物内に設ける事務所、店舗、興行場、倉庫その他これらに

類する施設(鉄道及び軌道の線路敷地内の運転保安に関する施設並びに跨線橋、プラットホームの上家、貯蔵槽その他これらに類する施設を除く。)をいい、建築設備を含むものとする。」とある。つまり、住宅を観点とすると、これらに当てはまる構造物の内側が内部空間であり、それ以外を外部空間と呼ぶことになる。中間領域はその間にあるものである。この論文では、中間領域を様々なタイプに分類し、比較していく。

3 分類方法

住宅は大まかにまとめると六面体の構造から成り立っている。雨露を凌ぐ屋根を有し、それを支える柱、または壁のいずれかがあり、土地に定着している。また上述したように、その内部は建築設備を含んでいるというのが条件である。

ここで一つの仮説を立てる。中間領域とはこの六面体のうち、いずれかが欠落している、あるいは建築設備が整っていない空間のことを指す。ここから住宅特集の事例を用いて、「六面体のうち残っている面の数」、「用途」、「土足の有無」、「レベル差」、「建築設備の有無」を比較し、中間領域を様々な型に分類していく。

4 分類結果

これまでの調査結果を以下の表に記す。するとほぼ四タイプに分けられる。屋根、床があり、壁がない若しくはガラスで貼られているサンルームタイプ、縁側タイプ。屋根がなく、床もない、壁若しくはガラスで覆われている中庭タイプ。屋根があり、床はなく、壁やガラスで覆われた土間タイプ。以上、四つのカテゴリーに中間領域は分けられるようだ。

The Study on Classification of Middle Region in Detached Houses

Misako WATANABE, Yasushi WATANABE

号	名称	設計	場所	用途	面(ガラス)	±足	建築設備	レベル差	タイプ
1	20178 桃山ハウス	中川エリカ建築設計事務所	静岡県	サンルーム	天ノ床ノ壁4(壁2)	×	×	±0	サンルーム
2	稲村の森の家	フジワラテッペアーキテツツラボ	神奈川県鎌倉市	食堂	天ノ床ノ壁4(壁2)	×	×	-100	縁側
3	林居	椎名英三建築設計事務所	関東	アウタールーム1	壁4(壁4)	○	×	250	中庭
4				アウタールーム2	壁3(壁1)	○	×	250	中庭
5				中庭	壁4(開口3)	○	×	250	中庭
6	飯能の小屋	谷尻誠・吉田愛	埼玉県飯能市	LDK	天ノ床ノ壁4(壁2)	×	○	400	縁側
7	八尾の家	関谷昌人建築設計アドリエ	大阪府八尾市	縁	天ノ床ノ壁4(壁1)	×	×	630	縁側
8				ガラスブリッジ	天ノ床ノ壁2(天ノ壁2)	×	×	630	サンルーム
9	光庭の棲	川本敦史・川本まゆみ	愛知県名古屋市中区	光庭	天ノ床ノ壁4(天1)	×	○	150	中庭
10	勝田の家	手嶋保設計事務所	茨城県ひたちなか市	テラス	天ノ壁4(壁3)	○	×	30~60	土間
11	小田井の住宅	水石浩太建築設計室	愛知県清須市	通り道	天ノ壁2(壁2)	○	×	100	土間
12	A house in the house tree	Eureka unidesign	東京都世田谷区	ウインドウアルコーブ	天ノ床ノ壁2(壁2)	×	○	600	縁側
13	Botanical house	Life style工房 なわけんじム	福島県福島市	インナーテラス	天ノ壁4(壁2)	○	×	1515	中庭
14	亀井谷戸の家	佐々木敏彦	神奈川県鎌倉市	居間	天ノ床ノ壁4(壁2)	×	○	840	縁側
15	野毛の家	CASE DESIGN STUDIO	東京都世田谷区	中庭	壁4(壁4)	○	×	2355~2955	中庭
16	W+P	川口通正建築研究所	東京都	中央ホール	天ノ壁4	○	×	825	土間
17	20176 川崎の住宅	長谷川豪建築設計事務所	神奈川県川崎市	リビングガーデン	天ノ床ノ壁4(壁2)	×	○	-2543~±0	縁側
18	光と壁の家	坂茂建築設計	東京都	テラス	天ノ床ノ壁3(壁1)	×	×	不明	縁側
19	荻窪の住宅	マウントフジアーキテツツスタジオ	東京都杉並区	リビングスタジオ	天ノ床ノ壁3(壁1)	○	○	±0	土間
20	掬光庵	MDS	埼玉県志木市	坪庭	天ノ壁4(壁2ノスリット)	○	×	972	中庭
21	内と外の家	フジワラテッペアーキテツツラボ	静岡県浜松市	ホール	天ノ壁2(壁2)	○	×	不明	土間
22	20175 安城の住宅	三宅大地建築設計事務所	愛知県安城市	リビング	天ノ床ノ壁2(壁2)	×	○	777	サンルーム
23	ヤマノイエ	津野建築設計室	神奈川県足柄下郡	渡り廊下	天ノ床ノ壁2(壁2)	×	×	2860~3360	縁側
24	クッテハウス	矢部達也建築設計事務所	大阪府豊中市	土間	天ノ壁3(壁1)	○	×	200	土間
25	天川の山荘	関谷昌人建築設計アドリエ	奈良県吉野郡	デッキ	天ノ床ノ壁3(壁1)	×	○	-2670	縁側
26	TRANS	駒田建築設計事務所	東京都港区	リビング・ダイニングキッチン	天ノ床ノ壁2(天1)	×	○	2800	サンルーム
27	海辺の丘	エムエーススタイル建築計画	静岡県前崎市	アプローチ	天ノ壁2(壁2)	○	×	-2900	縁側
28	武蔵藤沢の家	清水壮輔+頭井奈葉子+頭井秀和	埼玉県入間市	DLG	天ノ床ノ壁4(壁2)	×	○	135	縁側
29	千本の家	矢田朝士	京都府京都市	廊下1	天ノ床ノ壁3(壁3)	×	×	±0	土間
30				中庭	壁4(壁3)	○	×	-100	中庭
31	小江戸川越の町家	K+Sアーキテクト	埼玉県川越市	土間	天ノ壁3(壁1)	○	○	100	土間
32	披露山の家	スターバイロツツ	神奈川県逗子市	キッチンダイニング	天ノ床ノ壁4(壁1)	×	○	±0	縁側

表1 各事例の比較

居室の定義として建築基準法を引用すると「居住、執務、作業、集会、娯楽その他これらに類する目的のために継続的に使用する室をいう」とある。建築物の屋内空間は居室とそうでない部分に分けられているが、中間領域は表の用途欄を見る限り、居室に含まれる用途の空間もあれば、居室に含まれない空間も存在している。

レベル差に関してはグラウンドレベルに対して差異が大きい空間は外を風景として眺めたりするような、外と人が間接的につながる空間が多く、差異が小さいもののほど外に出て自然と触れ合うような、自然と人が直接的につながる空間が多い。

5 まとめ

本研究では、中間領域が四タイプに分けられた。今後のプロセスとしては研究を続けていく中、他とは違った方法で中間領域を表現している作品を発見し、比較分類を続ける。分類する区分として他にも以下のことが考えられる。今後さらに分析していきたい。

- ・ 鍵をかける
- ・ 空気を閉じる(風が通らない)
- ・ 視界を閉じる
- ・ 雨が吹き込まない、水でぬれていない
- ・ 植物が生えていない

またこれらの中間領域を用いた住宅を設計し、現代の都市にいかなる影響をもたらすか、建築的問題をいかに改善するか、提案していきたい。

「参考文献」

- 1) 平成28年版 建築関係法令集 法令編 (2015)p.16
- 2) 最新版〈図解〉よくわかる建築基準法 (2011)p.27 p.267-268
- 3) 新建築 住宅特集2017年8月号 特集/庭—暮らしを拓げる境界の思考 作品17題 p.18 p.32 p.46 p.58 p.68 p.76 p.92 p.100 p.110 p.124 p.130 p.138 p.144 p.152
- 4) 新建築 住宅特集2017年6月号 p. 42 p.54 p.76 p.112 p.118
- 5) 新建築 住宅特集2017年5月号 特集/敷地に応答せよ—変形敷地の可能性 p. 40 p.50 p.60 p.68 p.76 p.84 p.102 p.118 p.156 p.162